

# 施工要領書

鉄骨梁貫通孔小口耐火被覆材(パイロンバリアー)取付け

工事名

---

設計監理者		施工管理者	
設計責任者	工事監理	管理責任者	担当
・	・	・	・

改訂日	主な改訂内容	責任者

アクセス株式会社

# 目次

## 第1章 総 則

I-1	適用範囲	.....	P-2
I-2	目的	.....	P-2
I-3	適用図書・認定書	.....	P-2
I-4	変更・疑義・協議	.....	P-2
I-5	見本品・その他	.....	P-2
I-6	作業員への徹底	.....	P-2

## 第2章 認 定 条 件

II-1	鉄骨はり寸法	.....	P-3
II-2	貫通孔の直径・間隔等	.....	P-3
II-3	貫通孔小口耐火被覆材(パイロンバリアー)の寸法	.....	P-3
II-4	耐火被覆(吹付けロックウール)の厚さ・かさ比重	.....	P-3
	認定条件一覧表	.....	P-4~12
	パイロンバリアー施工手順	.....	P-13

# 第1章 総則

## I-1 適用範囲

本施工要領書は、鉄骨梁貫通孔小口耐火被覆材(パイロンバリアー)取付けに適用する。

## I-2 目的

本施工要領書を作成する事により、施工方針・仕様・納まり等の要点を明確にし、関係者にその内容を周知徹底させ、適切な工事を円滑に進める事を目的とする。

## I-3 適用図書・認定書

本施工要領書は、下記図書及び認定書に基づき作成する。

設計図書(特記仕様書優先とする)

国土交通大臣認定	FP060BM-0517-1(1時間耐火部位)	<かさ比重0.28以上>
国土交通大臣認定	FP060BM-0616(1時間耐火部位)	<ハイリング>
国土交通大臣認定	FP060BM-0658(1時間耐火部位)	<OSリング>
国土交通大臣認定	FP120BM-0569(2時間耐火部位)	<かさ比重0.28以上>
国土交通大臣認定	FP120BM-0583(2時間耐火部位)	<かさ比重0.30以上>
国土交通大臣認定	FP120BM-0617(2時間耐火部位)	<ハイリング>
国土交通大臣認定	FP120BM-0659(2時間耐火部位)	<OSリング>
国土交通大臣認定	FP180BM-0570(3時間耐火部位)	<かさ比重0.28以上>
国土交通大臣認定	FP180BM-0368-2(3時間耐火部位)	<かさ比重0.32以上>
国土交通大臣認定	FP180BM-0618(3時間耐火部位)	<ハイリング>
国土交通大臣認定	FP180BM-0660(3時間耐火部位)	<OSリング>

ベターリビング性能評価書	第KE-C033-19号(1時間耐火部位)	<かさ比重0.28以上>
ベターリビング性能評価書	第KE-C023-19号(1時間耐火部位)	<ハイリング>
ベターリビング性能評価書	第KE-C030-20号(1時間耐火部位)	<OSリング>
ベターリビング性能評価書	第KE-C025-18号(2時間耐火部位)	<かさ比重0.28以上>
ベターリビング性能評価書	第KE-C003-19号(2時間耐火部位)	<かさ比重0.30以上>
ベターリビング性能評価書	第KE-C024-19号(2時間耐火部位)	<ハイリング>
ベターリビング性能評価書	第KE-C031-20号(2時間耐火部位)	<OSリング>
ベターリビング性能評価書	第KE-C026-18号(3時間耐火部位)	<かさ比重0.28以上>
ベターリビング性能評価書	第KE-C032-19号(3時間耐火部位)	<かさ比重0.32以上>
ベターリビング性能評価書	第KE-C025-19号(3時間耐火部位)	<ハイリング>
ベターリビング性能評価書	第KE-C032-20号(3時間耐火部位)	<OSリング>

## I-4 変更・疑義・協議

本施工要領書に記載された事項のうち、変更の必要が生じた場合、内容に疑義が生じた場合及び記載事項以外の事項で重要と思われる場合には、係員と協議の上、承諾を得て施工する。

## I-5 見本品・その他

本工事に使用する各材料は、事前に見本・カタログ・資料等を提出し、係員の承諾を受ける。

## I-6 作業員への徹底

本施工要領は、工事着工前に打ち合わせなどで作業員に周知徹底させる。

## 第2章 認定条件

### II-1 鉄骨はり寸法

	(単位mm)	
1時間耐火部位	H-350×175×7×11の断面寸法以上	<0.28以上/ハイリング>
	H-396×199×7×11の断面寸法以上	<OSリング>
2時間耐火部位	H-346×174×9×16の断面寸法以上	<0.28以上>
	H-400×200×8×13の断面寸法以上	<0.30以上>
	H-350×174×9×16の断面寸法以上	<ハイリング>
	H-396×174×9×16の断面寸法以上	<OSリング>
3時間耐火部位	H-346×174×9×19の断面寸法以上	<0.28以上>
	H-400×200×8×13の断面寸法以上	<0.32以上>
	H-375×174×9×19の断面寸法以上	<ハイリング>
	H-396×174×9×19の断面寸法以上	<OSリング>

### II-2 貫通孔の直径・間隔等

貫通孔の直径	はり高さの1/2以下(1~3時間耐火部位共通)<0.28以上/0.30以上/0.32以上> はり高さの2/3以下(1~3時間耐火部位共通)<ハイリング> はり高さの63.13%以下(1~3時間耐火部位共通)<OSリング>
貫通孔相互の間隔	孔相互(端部間)の間隔:150mm以上(1~3時間耐火部位共通)<0.28以上> 孔相互(端部間)の間隔:150mm以上(2時間耐火部位)<0.30以上> 孔相互(端部間)の間隔:200mm以上(3時間耐火部位)<0.32以上> 孔相互(端部間)の間隔:200mm以上(1~3時間耐火部位共通)<ハイリング/OSリング>
貫通孔の位置	
1時間耐火部位	上下フランジより87.5mm以上(孔の端部までの寸法)離れた位置<0.28以上>
2・3時間耐火部位	上下フランジより86.5mm以上(孔の端部までの寸法)離れた位置<0.28以上> 上下フランジより100mm以上(孔の端部までの寸法)離れた位置<0.30以上/0.32以上>
1・2時間耐火部位	上下フランジより58mm以上(孔の端部までの寸法)離れた位置<ハイリング>
3時間耐火部位	上下フランジより62.5mm以上(孔の端部までの寸法)離れた位置<ハイリング>
1~3時間耐火部位	上下フランジより73mm以上(孔の端部までの寸法)離れた位置<OSリング>

### II-3 貫通孔小口耐火被覆材(パイロンバリアー)の寸法

	(単位mm)	
1時間耐火部位	厚さ12.28(-1.30)以上	幅10.28(±1)~500.28(±50) <0.28以上>
2時間耐火部位	厚さ12.28(-1.30)以上	幅10.28(±1)~500.28(±50) <0.28以上/0.30以上>
3時間耐火部位	厚さ12.28(-1.30)以上	幅10.28(±1)~500.28(±50) <0.28以上>
	厚さ23.28(-2.40)以上	幅48.28(±4.9)~500.28(±50) <0.32以上>
1・2時間耐火部位	厚さ12.28(-1.30)以上	幅25.28(±3)~110.28(±11) <ハイリング>
3時間耐火部位	厚さ12.28(-1.30)以上	幅28.28(±3)~110.28(±11) <ハイリング>
1時間耐火部位	厚さ12.28(-1.30)以上	幅46.28(±5)~250.28(±25) <OSリング>
2・3時間耐火部位	厚さ12.28(-1.30)以上	幅48.28(±5)~250.28(±25) <OSリング>

### II-4 耐火被覆(吹付けロックウール)の厚さ・かさ比重

貫通孔以外の耐火被覆の厚さ	
1時間耐火部位	25mm以上
2時間耐火部位	45mm以上
3時間耐火部位	60mm以上

※パイロンバリアーは吹付けロックウールとの複合認定となる為、吹付けロックウール以外の耐火被覆との組み合わせは不可。

※吹付けロックウールのかさ比重は認定番号によって異なるので注意すること。

- ・2、3時間耐火の使用鉄骨はり寸法によっては、かさ比重0.30以上/0.32以上となり、従来より重くなる為要確認。
- ・範囲としては、パイロンバリアー施工梁部に適用。

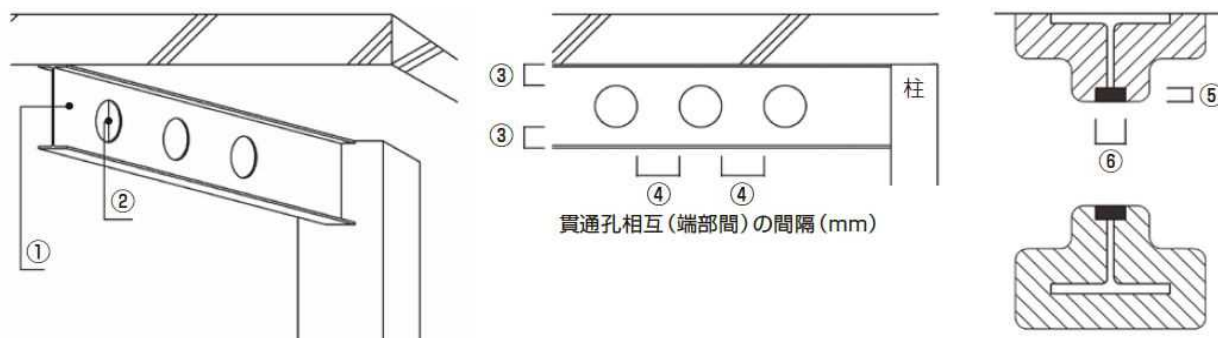
かさ比重0.28以上

1・2・3時間耐火共通 製品厚12mm(SMA)

鉄骨はり(ウェブ孔あき)			
	1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
①使用鉄骨はり寸法(mm)	H-350×175×7×11 の断面寸法以上	H-346×174×9×16 の断面寸法以上	H-346×174×9×19 の断面寸法以上
②貫通孔の直径(mm)	はり高さの1/2以下		
③貫通孔の上下 フランジからの位置	上下フランジより87.5mm以上 (孔の端部までの寸法) 離れた位置	上下フランジより86.5mm以上(孔の端部までの寸法) 離れた位置	
④貫通孔相互の間隔(mm)	(端部間)150以上		
鋼材の 種類 *・ 規格等	(1)一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101 SS400,SS490	
	(2)溶接構造用圧延鋼材	JIS G 3106 SM400,SM490,SM520	
	(3)建築構造用圧延鋼材	JIS G 3136 SN400,SN490	
	(4)溶接構造用耐候性熱間 圧延鋼材	JIS G 3114 SMA400,SMA490	
	(5)表1～表2に示す(1)～(4)の JIS鋼材と高温性能の同等性 が確認された鋼材	別紙、表1～表2参照	

\*) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

ウェブ処理材(パイロンバリアー)			
	1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
⑤製品厚さ(mm)	12.28(-1.30)以上		
⑥製品幅(mm)	10.28(±1)～500.28(±50)		
認定番号	FP060BM-0517-1 令和2年3月6日取得	FP120BM-0569 令和元年8月2日取得	FP180BM-0570 令和元年8月2日取得



**かさ比重0.28以上**

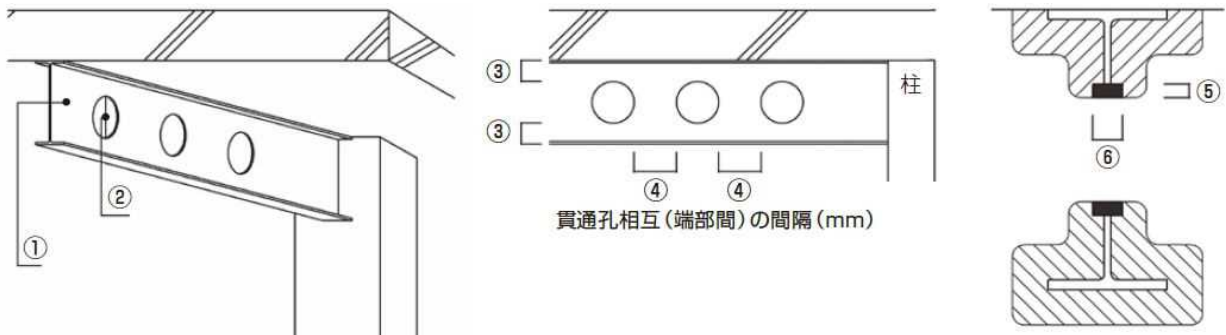
吹付けロックウール(被覆材)			
	1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
かさ比重	0.28以上		
吹付けロックウールの調合比 (重量%)	ロックウール	60±5	
	セメント	40±5	
セメントの種類	ポルトランドセメント (JIS R 5210) 白色ポルトランドセメント		
吹付け厚さ(mm)	25以上	45以上	60以上
吹付け表面仕上げ	吹き放し又はコテ均し		

かさ比重0.30以上/0.32以上 2時間耐火:製品厚12mm(SMA)/3時間耐火:製品厚23mm(SMP)

鉄骨はり(ウェブ孔あき)		
	2時間耐火部位	3時間耐火部位
①使用鉄骨はり寸法(mm)	H-400×200×8×13の断面寸法以上	
②貫通孔の直径(mm)	はり高さの1/2以下	
③貫通孔の上下フランジからの位置	上下フランジより100mm以上(孔の端部までの寸法)離れた位置	
④貫通孔相互の間隔(mm)	(端部間)150以上	(端部間)200以上
鋼材の種類*・規格等	(1)一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101 SS400,SS490
	(2)溶接構造用圧延鋼材	JIS G 3106 SM400,SM490,SM520
	(3)建築構造用圧延鋼材	JIS G 3136 SN400,SN490
	(4)溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材	JIS G 3114 SMA400,SMA490
	(5)表1～表2に示す(1)～(4)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材	別紙、表1～表2参照

\*)同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

ウェブ処理材(パイロンバリアー)		
	2時間耐火部位	3時間耐火部位
⑤製品厚さ(mm)	12.28(-1.30)以上	23.28(-2.40)以上
⑥製品幅(mm)	10.28(±1)～500.28(±50)	48.28(±4.9)～500.28(±50)
認定番号	FP120BM-0583 令和元年11月18日取得	FP180BM-0368-2 令和2年3月6日取得



**かさ比重0.30以上/0.32以上**

吹付けロックウール(被覆材)			
		2時間耐火部位	3時間耐火部位
かさ比重		0.30以上	0.32以上
吹付けロックウールの調合比 (重量%)	ロックウール	60±5	60±10
	セメント	40±5	40±10
セメントの種類		ポルトランドセメント (JIS R 5210) 白色ポルトランドセメント	
吹付け厚さ(mm)		45以上	60以上
吹付け表面仕上げ		吹き放し又はコテ均し	

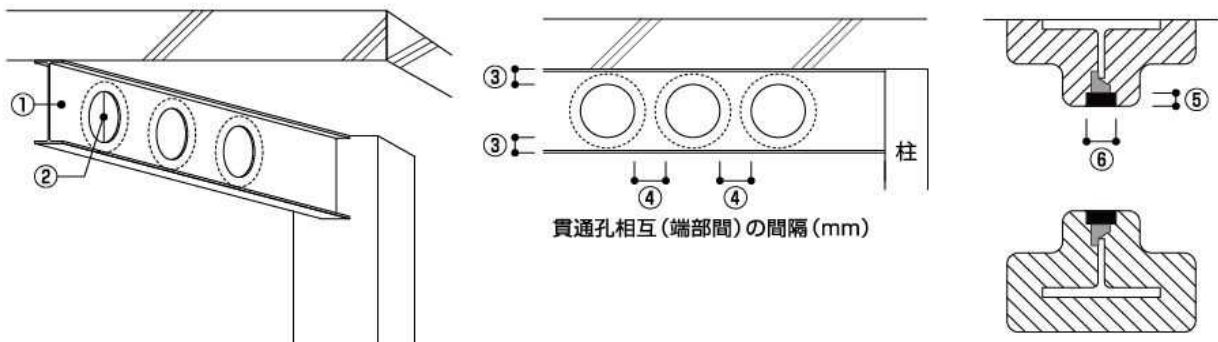


鉄骨はり(ウェブ孔あき)		1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
①使用鉄骨はり寸法(mm)		H-350×175×7×11 の断面寸法以上	H-350×174×9×16 の断面寸法以上	H-375×174×9×19 の断面寸法以上
②貫通孔の直径(mm)	はり高さの2/3以下			
③貫通孔の上下 フランジからの位置	上下フランジより58mm以上(孔の端部までの寸法) 離れた位置		上下フランジより62.5mm以上 (孔の端部までの寸法) 離れた位置	
④貫通孔相互の間隔(mm)	(端部間)200以上			
鋼材の種類 *・規格等	(1)一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101 SS400,SS490		
	(2)溶接構造用圧延鋼材	JIS G 3106 SM400,SM490,SM520		
	(3)建築構造用圧延鋼材	JIS G 3136 SN400,SN490		
	(4)溶接構造用耐候性熱間 圧延鋼材	JIS G 3114 SMA400,SMA490		
	(5)表1～表2に示す(1)～(4)の JIS鋼材と高温性能の同等性 が確認された鋼材	別紙、表1～表2参照		

\*) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※②～④上記の孔は補強リング内径を示す

ウェブ処理材(パイロンバリアー)			
	1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
⑤製品厚さ(mm)	12.28(-1.30)以上		
⑥製品幅(mm)	25.28(±3)～110.28(±11)		28.28(±3)～110.28(±11)
認定番号	FP060BM-0616 令和2年7月21日取得	FP120BM-0617 令和2年7月21日取得	FP180BM-0618 令和2年7月21日取得



# ハイリング

吹付けロックウール(被覆材)			
	1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
かさ比重	0.28以上		
吹付けロックウールの調合比 (重量%)	ロックウール	60±5	
	セメント	40±5	
セメントの種類	ポルトランドセメント (JIS R 5210) 白色ポルトランドセメント		
吹付け厚さ(mm)	25以上	45以上	60以上
吹付け表面仕上げ	吹き放し又はコテ均し		

ハイリング適用型式	
ハイリング型式	Rタイプ・Bタイプ・R+Sタイプ

※Sタイプは適用外

【別紙】

表1 (1)~(4)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号(一部略*)
建築構造用高溶接性高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0120	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0121	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0122	BT-HT440-SP
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0128	HBL325,HBL355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0129	HBL325,HBL355
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0130	HBL385
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0131	HBL385
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0135	HBL325,HBL355
建築構造用高降伏点490N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0186	BT-HT400C
建築構造用高性能550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0191	KCL A385
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> 級TMCP鋼材	MSTL - 0201	T-DAC385
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0300	BT-HT385
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0303	HBL385
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0306	HBL440
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> 級TMCP鋼材	MSTL - 0392	T-DAC385
建築構造用490MPa級TMCP厚鋼板	MSTL - 0393	CK-HYS325
建築構造用520MPa級TMCP厚鋼板	MSTL - 0409	CK-HYS355
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0410	HBL440
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0413	BT-HT385
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9001	SA440
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9002	SA440
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9003	SA440
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9004	SA440
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9005	SA440
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9006	KCL A325,KCL A355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9010	T-DAC325,T-DAC355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9012	BT-HT325,BT-HT355

表2 (1)~(4)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号(一部略*)
建築構造用高降伏点H形鋼	MSTL - 0307	NSYP255
建築構造用高降伏点H形鋼	MSTL - 0312	NSYP345
建築構造用 520N/mm <sup>2</sup> TMCP H形鋼	MSTL - 0314	HBL-H355
建築構造用高降伏点H形鋼	MSTL - 0318	NSYP255
建築構造用高降伏点H形鋼	MSTL - 0319	NSYP345

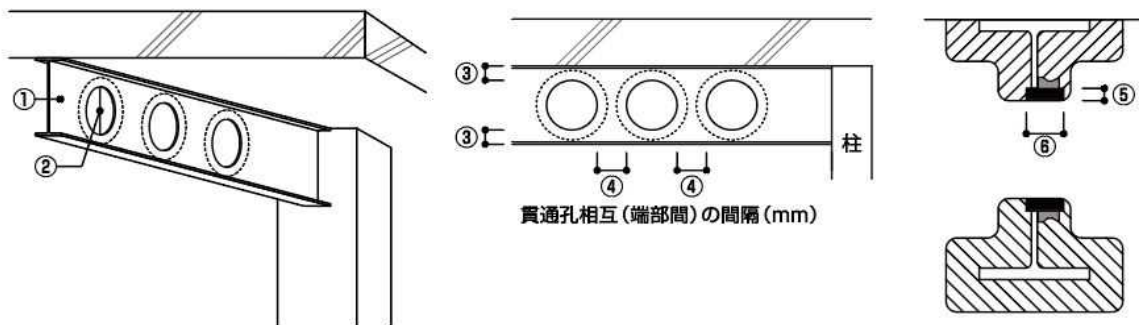
\*) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

鉄骨はり(ウェブ孔あき)			
	1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
①使用鉄骨はり寸法(mm)	H-396×199×7×11 の断面寸法以上	H-396×174×9×16 の断面寸法以上	H-396×174×9×19 の断面寸法以上
②貫通孔の直径(mm)	はり高さの63.13%以下		
③貫通孔の上下 フランジからの位置	上下フランジより73mm以上(孔の端部までの寸法)離れた位置		
④貫通孔相互の間隔(mm)	(端部間)200以上		
鋼材の 種類 *・ 規格等	(1)一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101 SS400,SS490	
	(2)溶接構造用圧延鋼材	JIS G 3106 SM400,SM490,SM520	
	(3)建築構造用圧延鋼材	JIS G 3136 SN400,SN490	
	(4)溶接構造用耐候性熱間 圧延鋼材	JIS G 3114 SMA400,SMA490	
	(5)表1～表2に示す(1)～(4)の JIS鋼材と高温性能の同等性 が確認された鋼材	別紙、表1～表2参照	

\*) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※②～④上記の孔は補強リング内径を示す

ウェブ処理材(パイロンバリアー)			
	1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
⑤製品厚さ(mm)	12.28(-1.30)以上		
⑥製品幅(mm)	46.28(±5)～250.28(±25)	48.28(±5)～250.28(±25)	
認定番号	FP060BM-0658 令和3年6月7日取得	FP120BM-0659 令和3年6月7日取得	FP180BM-0660 令和3年6月7日取得



# OSリング

吹付けロックウール(被覆材)			
	1時間耐火部位	2時間耐火部位	3時間耐火部位
かさ比重	0.28以上		
吹付けロックウールの調合比 (重量%)	ロックウール	60±5	
	セメント	40±5	
セメントの種類	ポルトランドセメント (JIS R 5210) 白色ポルトランドセメント		
吹付け厚さ(mm)	25以上	45以上	60以上
吹付け表面仕上げ	吹き放し又はコテ均し		

OSリング適用型式	
OSリング型式	Sタイプ・Lタイプ 補強方法: 片側もしくは両側

※SSタイプは適用外

## 【別紙/OSリング】

表1 (1)~(4)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号(一部略*)
建築構造用高溶接性高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0120	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0121	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0122	BT-HT440-SP
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0128	HBL325,HBL355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0129	HBL325,HBL355
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0130	HBL385
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0131	HBL385
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0135	HBL325,HBL355
建築構造用高性能550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0191	KCL A385
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> 級TMCP鋼材	MSTL - 0201	T-DAC385
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0300	BT-HT385
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0303	HBL385
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0306	HBL440
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> 級TMCP鋼材	MSTL - 0392	T-DAC385
建築構造用490MPa級TMCP厚鋼板	MSTL - 0393	CK-HYS325
建築構造用520MPa級TMCP厚鋼板	MSTL - 0409	CK-HYS355
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> TMCP鋼材	MSTL - 0410	HBL440
建築構造用550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0413	BT-HT385
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9001	SA440
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9002	SA440
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9003	SA440
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9004	SA440
建築構造用高性能590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9005	SA440
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9006	KCL A325,KCL A355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9010	T-DAC325,T-DAC355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9012	BT-HT325,BT-HT355

表2 (1)~(4)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号(一部略*)
建築構造用高降伏点H形鋼	MSTL - 0312	NSYP345
建築構造用 520N/mm <sup>2</sup> TMCP H形鋼	MSTL - 0314	HBL-H355
建築構造用高降伏点H形鋼	MSTL - 0319	NSYP345

\*) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

# パイロンバリアー施工手順

## 製品数量の確認

発注数量と納品数量の確認をして下さい。製品には対応径が表示されています。

## 施工手順

1、貫通孔小口部のゴミ・埃をはけ等で清掃し、粘着性能を確保する。

2、貫通孔の直径に合った製品を確認する。

※製品寸法が、実長(貫通孔径)+5mmの長さになっているかを確認する。

3、事前に製品の粘着テープが外側になるよう円状にし、  
接続部をアルミガラスクロステープで一周巻きつける。

4、製品を貫通孔断面の中心になるように仮設置する。

※接続部が上部に位置するよう設置する。(雨天時の水の浸入を防ぐため)

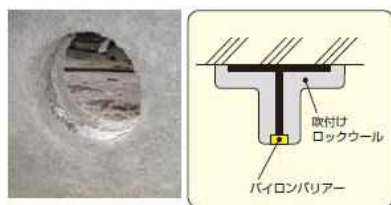
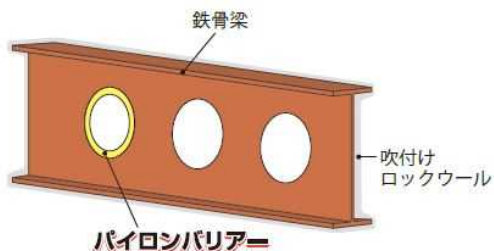
5、貫通孔にはめた後、端から粘着テープのりけい紙を脇に抜き取るように  
剥がしながら製品を押えて貫通孔小口部に接着固定する。

6、りけい紙剥離後、再度全体を押えて、目視により浮き・剥離・隙間および  
ぐらつきが無いか確認する。



## 耐火被覆工事

パイロンバリアーの側面とは隙間の無い様に、コテ押え等により仕上げる。



## 施工品質確認事項

### 取付け固定状況

- 浮き、ぐらつきの有無  
<有る場合>…再度、十分に押さえつける  
テープ止め等の補強を施す

### 継目部の状況

- 隙間の有無  
<有る場合>…短材で隙間を埋める

## 安全の確保

足場および昇降機等で作業する際、安全帯が正しく固定されていることを確認する。